

七福神 仮装パレード

月 日: 例年1月3日(雨の場合中止)
 時 間: 11時30分～14時30分
 コース: 氷川神社～鈴谷大堂



与野七福神
めぐりマップ

武州与野

七福神めぐり



与野七福神縁起

市域のほぼ中央を走る本町通りは、中世初期から鎌倉街道の宿駅となった古い歴史をもつ街で南北朝時代の康安元年(1361)には市場が開設され、さらに江戸時代には浦和と川越を結ぶ市場町として栄えてきた。明治初め鉄道敷設(現在の京浜東北線)に反対したため市外の東側に開通することになってその賑わいが廃れた。待望の埼京線が昭和60年9月に開通、北与野・与野本町・南与野の3駅が開設されたことにより、西与野地区を中心に新しい観光名所作りへと初代会長柏計助氏が中心となり奔走、昭和59年暮与野七福神奉賛会を発足。翌年正月には七福神仮装行列・七福神めぐりを実施した。以後大勢の方々、各種団体の皆様のご支援ご協力の元今日に至っている。与野七福神は、この本町通りを中心に点在しており、歩いて巡れる七福神コースとして好評をいただいております。是非、皆様の巡拝をお待ちしております。



発行
 与野七福神パレード実行委員会
 与野七福神奉賛会
<http://www.stib.jp/>

後援
 さいたま市中央区役所
 さいたま商工会議所
 さいたま観光国際協会

①氷川神社

さいたま市中央区本町東 6-109

古来与野の氏神様で、扇の宮と呼ばれ信仰されている。本殿は宝永五年(1708年)に新築再建され、二間社流造銅板葺建築は全国的にも貴重な建物から、平成28年『有形文化財』に市指定されている。又、再建時奉納された神輿(市内最古)も保存されている。



ご利益 幸福(福)と高給(禄)と長寿(寿)の神。

②一山神社

さいたま市中央区本町東 4-10-14

木曾御嶽山講四大講祖のひとり一山行者ゆかりの神社。1851年一山行者の没後、その高徳を敬慕する多くの人々により与野町内にあった八幡社の境内に御岳大神を勧請し一山神社を創立。毎年冬至には、無病息災、家内安全を祈る火渡り行事が行なわれ柚子を投げ入れる事から『柚子祭り』とも呼ばれ市指定無形民俗文化財に指定されている。



ご利益 商売繁盛の福の神。

③天祖神社

さいたま市中央区本町西 1-14

文政年間(江戸後期)頃描かれた与野本町の街並み絵図(市指定有形文化財)には、神明山として現天祖神社が描かれている事からそれ以前より地域の信仰を受けて居た事が分かる。明治10年与野公園が県下3番目に公園指定された機に天祖神社に改名されたと記されて居る。公園奥には2100株を超えるバラ園が広がって居る。



ご利益 老子の化身で 1500 歳の超長寿を全うした長寿の神。

④御嶽社

さいたま市中央区本町西 2-5

江戸後期、木曾御嶽山講祖一山行者が開山。当地井原平八の保護を受け修験者の厳しい修行を積み重ね、普寛一心両行者の行法を感得し後、各所に霊場を設け、御嶽大神の分霊をまつり御嶽信仰の布教に努めたと言われている。本社もその一つと思われる。平成25年弁財天を合祀奉安する。



ご利益 唯一の女神で学問・芸術・財運の神。

福祿寿

中国の道教が起源の神。人生の三大目的とする福(幸福)、禄(身分)、寿(寿命)すべてを兼ね揃えた神。南極星(中国の伝説で人の寿命を司る星)の化身で、南極老人といわれる。また福・禄・寿を具えた神は人徳も備わっていることから人徳の神としても信仰される。



⑤円乗院

さいたま市中央区本町西 1-13-10

真言宗智山派安養山西念寺圓乗院鎌倉幕府の武将 島山重忠によって建久年間(1190~1199)に創建。慶長年間(1596~1615)に中興の僧、賢明上人が移建したとする名刹。現本堂は平成の大修理により創建当時の風情を醸し出している。又、高く聳えたる多宝塔は高野山、根来寺に次ぐ大塔。仏舎利が奉安されており。3月下旬には市指定天然記念物の千代桜(シダレザクラ)が人々の目を楽しませてくれる。



ご利益 右手に小づち、左肩に袋を下げた蓄財の神。

大黒天

インドのヒンズー教のシヴァ神がその起源。名前はマハーカーラといい、マハーは「大」カラーは「黒」時間を意味し、インドでは「大いなる死の神」として崇められている。大国主命の「大国」を大黒が同じ読みみの為、習合され今の姿となる。頭巾姿は上を見るな謙虚であれ、足下の米俵から欲をかくな 2 俵で満足せよと知足の心を表し、小槌は「土」に通じ、土から宝を生じるといふ事で豊作の神、財宝の神とされる。



恵比須神

七福神の中で唯一の日本の神。恵比須の出自には諸説があるが伊弉諾尊(いざなぎのみこと)、伊弉冉尊(いざなみのみこと)の三男、夷三郎という説が一般的。(天照大神と兄弟)鯛と釣竿を持った姿は「釣りして網せず」ということで暴利を貪らぬ清廉の心を象徴しているといわれ、商売繁盛の福神として信仰を集めている。



⑥円福寺

さいたま市中央区上峰 4-7-28

真言宗智山派北明山龍光院円福寺。江戸幕府が編纂した『新編武蔵風土記稿』に「開山の円海上人は1521年に死す」と記されていることから、室町時代以来の古刹であった事がわかります。釈迦堂にはさいたま市指定文化財の釈迦如来坐像(鎌倉時代後期)が安置してある。



ご利益 未来予知が出来る福德の神。

布袋尊

七福神の中で唯一、実在の人物。中国唐代末期に活躍した禅僧。本名、哭此。太鼓腹を露出し、常に布の袋を背負い闊歩していた事より布袋和尚と呼ばれ親しまれた。その生き様は見識ぶらず、威張らず、何事にも拘らない心、度量大きく人に接する人徳から福運、大量のご利益があるといわれている。



寿老神

中国の道教が起源の神。南極星(中国の伝説の人で寿命を司る星)の化身で、長頭で巻き物をつけた杖と団扇を持ち、鹿を連れている南極老人。禄と長寿を授ける神として信仰されている。



⑦鈴谷大堂

さいたま市中央区鈴谷 8-4

階段を登ると直ぐ左に六地藏が迎えてくれる。鈴谷大堂は村民待ちの仏堂で、建立年は不明であるが六地藏の銘文から江戸中期寛文七年(1667年)には存在していたことがわかると、記されている。仏堂には阿弥陀如来像(江戸中期)や聖観音座像(室町時代)などが安置されている。平成8年毘沙門天を合祀奉賛。



ご利益 知恵と勇気の守り神。

毘沙門天

毘沙門天とは、多聞(一切を漏らさず聞く事が出来る大智者)といわれるインドの神。仏教では持国天、增長天、広目天と並ぶ四天王の一人で北方を守り財宝富貴を司り、仏法を守護する神。91の武勇の神を従えていると言われる。戦勝の神であるところから上杉謙信が崇拝し旗印に用いたといわれている。



開 与野七福神 運



祈願の御朱印

【色紙】各寺社にてお求め出来ます。
色紙代:初穂料 ¥1,000
押印代:1ヶ所 ¥100
【御朱印】各寺社にていただけます。

各寺社の押印受付時間

元日~3日 午前9時~午後4時